

京都大学公開講座 春秋講義

平成25年度春季講義

2013 Spring Shunyu Kougai

[テーマ] アジアにおけるインド・中国のパワー

4月24日〈水〉

中国パワーの源泉と行方

劉 徳強 教授 (京都大学地球環境学堂)

5月8日〈水〉

現代インドのダイナミズム—多様性社会の挑戦

田辺明生 教授 (京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科)

5月15日〈水〉

中国、インドの「復活」とその政治的影響

—文明的な大国と21世紀の国際政治

中西 寛 教授 (京都大学法学研究科)

[会場]

京都大学百周年時計台記念館

百周年記念ホール (京都市左京区吉田本町)

TEL 075-753-2285

[受講定員] 500名 (各講義とも当日先着順)

[時間] 18:30~20:00 (開場 18:00)

受講料無料・申込み不要

[主催] 京都大学 [後援] 京都府/京都市 [お問合せ] 京都大学渉外部広報・社会連携推進室

TEL 075(753)2233(月~金 9:00~17:00) FAX 075(753)2246

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

「京の府民大学」対象講座



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学公開講座 春秋講義

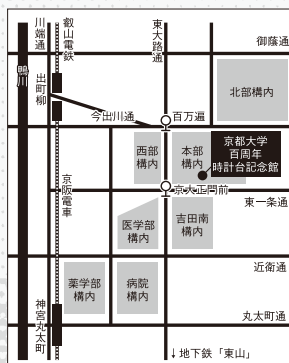
平成25年度春季講義

2013 Spring Semester Course

春秋講義は、京都大学における学術研究活動の中で培われてきた知的財産について、広く学内外の人々と共有を図るため、1988(昭和63)年秋から開講している公開講座です。年に2回、春と秋にテーマをもうけ講義を行います。

会場

京都大学
百周年時計台記念館
百周年記念ホール
(京都市左京区吉田本町)



- ◆市バス 系統31・65・201・206「京大正門前」下車/系統3・17・203「百万遍」下車
 - ◆京阪電車、叡山電鉄「出町柳」下車、徒歩20分
 - ◆地下鉄東西線「東山」下車、徒歩約25分もしくは市バス系統31・201・206「京大正門前」下車
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

京都大学渉外部広報・社会連携推進室では、ご登録いただいた方に、公開講座など開催ごとにメール、ファックス、はがきで情報をお知らせします。

メールでの案内をご希望の方は、ホームページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open>) の「公開講座お知らせメール」申込フォームから、ファックス、ハガキでの案内をご希望の方は、「公開講座案内希望」と明記の上、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号(ファックスの方はファックス番号も加えて)を記入し、下記までお申してください。

ファックス 075-753-2246

ハガキ 〒606-8501京都市左京区吉田本町
京都大学渉外部広報・社会連携推進室

[テーマ] アジアにおける インド・中国のパワー

4月24日(水)

中国パワーの源泉と行方

1978年から始まった改革・開放政策以降、中国経済は三十数年間に亘って急速に成長してきた。中国経済の急成長をもたらすパワーはどこから来たのか、今日の中国経済はどのような問題に直面しているのか、今後引き続き成長していけるかどうか。また、アジアの国々にとって、巨大化する中国とどのように付き合っていくべきか。本講義では、日本やインドのことに触れながら、こうした問題について議論していきたい。



劉 徳強 教授
(京都大学地球環境学堂)

りゅう とくきょう◎東京都立大学経済学部卒業、一橋大学大学院博士課程単位取得満期退学、東京都立大学経済学部助手、東京学芸大学教育学部講師、助教授、同教授を経て、2008年京都大学経済学研究科教授、2012年より現職。著書に『中国のミクロ経済改革：企業と市場の数量分析』(共著)、Industrial Reform in China: Past Performance and Future Prospects (共著)など。1995年度日経・経済図書文化賞受賞。

5月8日(水)

現代インドのダイナミズム—多様性社会の挑戦

今、インドは大きく躍動しています。経済成長はめざましく、民主主義の深化も着実に進んでいます。貧困や差別の問題が解決したわけではありません。しかし、これらの問題を克服するためにも、多様な民衆が公共参加を進めています。こうしたダイナミズムの基盤には、多様性を支えるインドの社会と文化があり、ここにカーストという制度も関わっています。現代インドのパワーの源を地域研究と歴史人類学の立場から説明します。



田辺 明生 教授
(京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科)

たなべ あきお◎東京大学法学部卒業、同大学院総合文化研究科中退、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手、京都大学人文科学研究所准教授などを経て、2009年より現職。著書に「カーストと平等性—インド社会の歴史人類学」(東京大学出版会)、『南アジア社会を学ぶ人のために』(世界思想社)など。2010年度国際開発研究・大来賞、2011年度発展途上国研究奨励賞、2012年度大同生命地域研究奨励賞受賞。

5月15日(水)

中国、インドの「復活」とその政治的影響 —文明的な大国と21世紀の国際政治

中国およびインドは、西洋の台頭のはるか以前から巨大な帝国であった。この両国が近代的な知識や技術を身につけた大国として「復活」する兆しを見せている。この「復活」が実現すれば、21世紀の国際政治を大きく左右する存在になることは間違いない。しかし中国もインドも、それぞれの文化的伝統と近代化がせめぎ合う矛盾の固まりでもある。講義では、中国、インドの政治外交の実態と国際政治および日本への影響について考える。



中西 寛 教授
(京都大学法学研究科)

なかにし ひろし◎京都大学法学部卒業、同大学院法学研究科修士課程修了、1988年-90年シカゴ大学歴史学部博士課程在籍。京都大学法学部助教授を経て、2002年より現職。著書に『国際政治とは何か—地球社会の人間と秩序』(2003年、第3回 読売・吉野作造賞受賞)、(共編著)『歴史の枠を越えて—20世紀日中関係への新視点』(2010年、大平正芳財団特別賞受賞)など。